

授業科目 身体障害作業療法学Ⅲ

【担当教員名】 今西 里佳		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】 神経難病および内部障害に対して作業療法を実施するために、その病態を理解した上で、作業療法の目的、治療戦略やその実際の方法を学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. さまざまな疾患の病態と臨床経過を述べることができる 2. 神経難病に対する作業療法アプローチの目的について列記することができる 3. 内部障害に対する作業療法アプローチの目的について列記することができる 4. ターミナルにおける作業療法アプローチの目的について列記することができる 5. 神経難病に対する作業療法の実際を説明することができる 6. 内部障害に対する作業療法の実際を説明することができる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	イントロダクション			1	講義
2	神経難病の病態とその臨床経過（１）			1	講義
3	神経難病の病態とその臨床経過（２）			1	講義
4	内部障害の病態とその臨床経過（１）			1	講義
5	内部障害の病態とその臨床経過（２）			1	講義
6	ターミナルの臨床像			1	講義
7	神経難病に対する作業療法の実際 神経変性疾患（１）			2, 5	講義
8	神経難病に対する作業療法の実際 神経変性疾患（２）			2, 5	講義
9	神経難病に対する作業療法の実際 脱髄疾患			2, 5	講義
10	内部障害に対する作業療法の実際 呼吸器疾患（１）			3, 6	講義
11	内部障害に対する作業療法の実際 呼吸器疾患（２）			3, 6	講義
12	内部障害に対する作業療法の実際 循環器疾患・糖尿病			3, 6	講義
13	内部障害に対する作業療法の実際 下部尿路機能障害			3, 6	講義
14	ターミナルにおける作業療法の実際			4	講義
15	まとめ			1～6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		身体機能作業療法学	岩崎テル子編	医学書院	2005・4,700円
参考書		図解作業療法技術ガイド 第2版	石川斉、古川宏	文光堂	2003・8,000円
その他の資料					
【評価方法】 出席、授業態度、定期試験の結果を総合的に判断する			【履修上の留意点】		